

げっぷのさせ方

★げっぷの時の抱き方

右側で抱く場合、右手で赤ちゃんの頭と首、左手でおしりを支えて、縦に抱きましょう。

赤ちゃんのあごが、ママの肩にのるくらいの高さで抱きましょう。ママの胸を少し反らすと、安定して抱けます。



★げっぷのさせ方

赤ちゃんの背中を下から上に、さすりましょう。

背中をたたく時は、優しくしましょう。

・どうしてげっぷをさせてあげるの??

赤ちゃんは、授乳の時に大量の空気を飲み込みやすいため、げっぷをさせてあげる必要があります。哺乳瓶でのんだ時は特に空気を飲み込みやすいため、げっぷをさせてあげましょう。

・もしげっぷがでなかったら・・・

しばらくしても、げっぷがでなかったらそのまま寝かせても構いません。

そのときは、赤ちゃんの顔を横に向けてあげて寝かせてあげましょう。

・げっぷをさせた時に吐くのはなぜ??

赤ちゃんの胃は縦型で胃の入口のしまりがまだ未熟なため、げっぷと一緒に飲んだおっぱいを吐くことがあります。異常ではありません。

生後3週間くらいからは、徐々に減ってくるでしょう。



抱っこの仕方

抱っこをしてもらっている時は赤ちゃんにとって、いちばん安心できる、大好きな時間です。

★抱っこのポイント

・首がすわっていないため、首をしっかり支えましょう。

- ① 両手で寝ている赤ちゃんの頭を持ち上げます。



- ② 片手で頭を支え、もう片方の手で赤ちゃんのおしりを包み込むようにして、身体を支えます。



- ③ 赤ちゃんの頭を二の腕に乗せて、身体を密着させながら、赤ちゃんを抱っこします。



抱きぐせは心配せず、たくさん赤ちゃんに声をかけ、スキンシップの時間と思って、抱っこを楽しみましょう。